

## 取組実績一覧

- シンポジウム/パネルディスカッション
  - ・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成30年度）  
「平成30年度男女共同参画サポーター養成講座 第5回 公開講座」
  - ・岩手県（平成29年度）  
「平成29年度男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業」
  - ・復興庁・日本子育て学会（平成29年度）  
「震災から6年 ふくしまの子育ち/子育てのこれからいわきからの発信」
  - ・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成29年度）  
「平成29年度男女共同参画サポーター養成講座 第6回 公開講座」
  - ・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成29年度）  
「いわて男女共同参画フェスティバル2017 第4分科会」
  - ・岩手県（平成28年度）  
「平成28年度男女共同参画の視点からの防災・復興に関する普及啓発事業」
  - ・復興庁・熊本県（平成28年度）  
「熊本地震からの復興を考える～これからのコミュニティ再生を中心に～  
（東日本大震災・過去の災害の教訓を男女共同参画や災害時の教訓を男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点から）」
- ワークショップ
  - ・岩手県、岩手県男女共同参画センター（平成28年度）  
「平成28年度男女共同参画サポーター養成講座」
- セミナー・講演
  - ・石巻市・復興庁（平成29年度）  
「『性的マイノリティの基礎知識』～復興における性的マイノリティに係る課題について～」
  - ・JICA東北（平成29年度）  
「課題別研修『ジェンダーと多様性からの災害リスク削減』コース」
  - ・南相馬市（平成29年度）  
「男女共同参画推進事業講演会～人生を磨く「きれいのルール」～」
  - ・JICA東北（平成28年度）  
「課題別研修『ジェンダーと多様性からの災害リスク削減』コース」
  - ・石巻を考える女性の会・石巻市（平成28年度）  
「元気な女性が未来をつくる」
- ポスター・パネル展示
  - ・内閣府防災（平成30年度）  
「第3回防災推進国民大会 大規模災害への備え・みんなの連携の輪を地域で強くする」
  - ・岩手県男女共同参画センター・岩手県（平成30年度）  
「いわて男女共同参画フェスティバル2018」
  - ・内閣府防災（平成29年度）  
「第2回防災推進国民大会 大規模災害への備え～過去に学び未来を拓く～」
  - ・熊本県男女共同参画センター（平成29年度）  
「男女共同参画週間 in パレア」
  - ・岩手県男女共同参画センター・岩手県（平成29年度）  
「いわて男女共同参画フェスティバル2017」
  - ・復興庁（平成28年度）  
「熊本地震からの復興を考える～これからのコミュニティ再生を中心に～」
  - ・内閣府防災（平成28年度）  
「第1回防災推進国民大会 大規模災害への備え～過去に学び未来を拓く～」
  - ・岩手県男女共同参画センター・岩手県（平成28年度）  
「いわて男女共同参画フェスティバル2016」

## 復興庁男女共同参画班にご相談ください

復興庁男女共同参画班は、復興にも男女共同参画の視点を持つことの必要性を理解してもらう取組を進めるため、必要な相談を承っております。

ご相談を受け、具体的には、ワークショップ、シンポジウム/パネルディスカッション、セミナー・講演、ポスター・パネル展示、イベントにおける登壇者の紹介などを行っております。お気軽にご相談ください。

## 【連絡先】

電話：03-6328-0274 / FAX：03-6328-0299

メールアドレス：fukkocho.danjohan@cas.go.jp

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-1-1 中央合同庁舎4号館10階

Webサイト：http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-16/

復興庁男女共同参画班

検索

まずは  
お電話か  
メールで  
ご連絡を



参考事例集



ワークショップ・シンポジウム



コーディネート

復興庁  
男女共同参画班の取組

平成30年度版

復興庁男女共同参画班にご相談ください

電話：03-6328-0274

メールアドレス：fukkocho.danjohan@cas.go.jp

男女共同参画班の  
位置付け

東日本大震災復興基本法及び「復興・創生期間」における東日本大震災からの復興の基本方針等に男女共同参画に関する記述あり。

基本法では「女性、子ども、障害者等を含めた多様な国民の意見が反映されるべきこと」と規定。

基本方針では「復興のあらゆる場、組織への女性の参画拡大を通じて、復興過程における男女共同参画を一層推進する」と記載。

これらに基づき、復興庁男女共同参画班が設置・活動

男女共同参画班の  
主な取組と  
今後の方向性

事例集の作成・公表

- 主に女性が中心となって行われている取組や取組を行っている女性を支援する取組等を取材。
- 取材の結果を取りまとめ、事例集として公表。

復興活動への男女共同参画の視点の浸透

- 復興にも男女共同参画の視点を持つことの必要性を理解してもらう（＝浸透させる）ための活動。
- パネルディスカッション・シンポジウムの開催、ワークショップの開催、研修会の講師、イベントにおける登壇者の紹介など被災地の自治体等のニーズに応じて実施。

第4次男女共同参画基本計画等も念頭に置きつつ、被災地自治体等のニーズを踏まえながら実施

ワークショップ、シンポジウム、セミナーなどの開催や、お手伝いをしています。

Case Studies

事例集

男女共同参画の視点からの復興～参考事例集～

- 自治体や各地で活躍する方々の参考となるよう、まちづくり、仕事づくり、健康づくりなどの分野に関し、女性が活躍している事例や被災地の女性を支援している事例等を収集・公表。

まちづくり

行政と協働し、まちづくり計画の策定・提言、これからどのようなまちに復興していくか検討する取組

仕事づくり

就業支援、起業支援、産業の創出や地域経済の活性化に関する取組

健康づくり

心身の健康維持・増進のための取組

居場所づくり

孤立を防止するための場づくりや、ネットワークづくり、地域の人が集まるスペースづくりなど、様々な人と交流や情報交換を行うための場を提供するための取組

人材育成

地域住民やNPO・自治体職員など、復興を担う人材を育成するための取組

情報発信

復興に向けた被災地の現状を伝える取組や、東日本大震災の記録を残すための取組

- 現在111事例をHP上にて公表（平成30年9月末時点）。
- 第11版（平成29年1月）より、様式を変更。
- 平成28年度～30年度はフォローアップに注力。平成27年度8件、平成28年度14件、平成29年度13件、平成30年度は9月末時点で22件追加で掲載。



Symposium

シンポジウム

熊本での東日本大震災での男女共同参画の知見を伝えるシンポジウム

「熊本地震からの復興を考える  
～これからのコミュニティ再生を中心に～

（東日本大震災・過去の災害の教訓を男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点から）」の実施（平成29年1月21日）

- 復興庁・内閣府（防災担当が主催、男女共同参画局が共催）が協力し、熊本にてシンポジウムを実施。
- 避難所が閉鎖され、被災者の多くが仮設住宅（借上型仮設住宅を含む。）に移行されて数ヶ月、新たな住居で課題となると予想される「コミュニティの再生」を中心テーマとして実施。熊本地震、東日本大震災及び過去の災害からの取組・経験・知恵を共有し、男女共同参画や災害時要援護者などの多様な視点を取り入れた、今後の熊本の復興の在り方や災害への備えについて考え、更には、熊本の経験を共有し、東北の復興にもつなげていくことを目的に開催。

当日のプログラム

- ・奥山恵美子仙台市長による基調講演
- ・防災・復興に携わり、経験・知見を持つ有識者の方々による事例発表やパネルディスカッション
- コーディネーター  
新潟大学危機管理室 田村圭子教授
- パネラー  
くまもと県民交流館「パレア」 中園三千代館長  
熊本市男女共同参画センター「はあもにい」 藤井宥貴子館長  
(公財)せんだい男女共同参画財団 木須八重子理事長  
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 天野和彦特任准教授  
NPO法人インクルいわて 山屋理恵理事長  
認定NPO法人CS神戸 中村順子理事長
- ・災害に関する取組を行っている団体の展示ブースと三部構成で実施。



Work shop

ワークショップ

岩手県男女共同参画サポーター養成講座

「復興における地域コミュニティの再生を事例から学ぶ  
～男女共同参画の視点からの復興～」（平成29年9月25日）

コーディネーター  
認定NPO法人JEN 高橋 聖子氏

事例発表① 岩手県釜石市に関する発表  
釜石市 釜石地区生活応援センター  
所長 兼 釜石公民館長 栃内 宏文氏  
釜石市社会福祉協議会  
地域福祉課生活ご安心センター 課長  
兼 副センター長 菊池 亮氏

事例発表② 宮城県石巻市北上町に関する発表  
一般社団法人 ウィーアーワン北上  
代表理事 佐藤 尚美氏  
公立大学法人岩手県立大学 社会福祉学部  
准教授 庄司 知恵子氏

- 岩手県が行っている男女共同参画サポーター養成講座のうち、平成29年9月25日（月）12時半～14時半の1講座を復興庁男女共同参画班が担当。
- 釜石市・石巻市北上町の地域づくり活動について、4名の登壇者からお話いただき、それぞれの活動において、男女共同参画を含めた多様な視点がどのように盛り込まれているかについて考え、参加者にとって、自分の地域でのまちづくりに「男女共同参画を含めた多様な視点」を反映していくためのきっかけづくりとなることを目的に開催。
- コーディネーターの認定NPO法人JEN高橋 聖子氏の進行のもと、4名から事例発表頂き、その後、それぞれの地域づくりの事例について、男女共同参画の視点からはどのような気付きがあったかを、高橋氏が解説した。また、事例発表者に登壇いただきパネルディスカッションを行った。
- 事例発表とパネルディスカッションの後それぞれに、参加者同士で自分の考えを共有する時間を作るなど、より参加者の学びが深まるような取組を行った。

Coordinate

コーディネート

南相馬市 男女共生こども課主催

「佐伯チズ講演会～人生を磨く『きれいのルール』～」  
（平成29年10月12日）への協力について

- 美容家・生活アドバイザーの佐伯チズ氏は、東日本大震災からの復興に関しては、被災者を元氣付け、エンパワーメントするため、老若男女を問わず、みんなが「きれい」になるために、どんなことが大事かを講演して被災地を回っている。
- 佐伯チズ氏の事務所から当班に、被災地支援をしたい旨、一昨年にご連絡があったことをきっかけに、一昨年、昨年と、石巻市における佐伯チズ氏の講演会の開催に協力。
- 当班が市町村訪問する中、南相馬市男女共生こども課から、南相馬市の女性を元氣にできないかとの相談を受け、また、佐伯チズ氏からは、引き続き少しでも復興の役に立ちたいとの意向を伺っていたことから、当班がコーディネートし、南相馬市における講演会の実施につながった。
- 実際に参加された方からは、「久しぶりに震災を忘れて楽しむことができた」などと好評であった。

